

民謡で伝統見直しを

おかやま適塾 住宅氏が講演

地元で活躍する著名人らの講演を通し、郷土の未来を考える「第三十回おかやま適塾」が二十五日、岡山市柳町、山陽新聞社さん太ホールで開かれた。ちくわ笛奏者として知られる、桃太郎のからく

り博物館(倉敷市本町)の住宅正人館長が「うたで探る岡山の文化」と題して話した。二十年以上にわたり取り組んでいる岡山の民謡研究の成果を、見事な歌唱とちくわ笛演奏を交えて披露。備前



ちくわ笛を手に講演する桃太郎のからくり博物館の住宅館長

の田植えや美作北部の茶もみなどで歌われる労働歌を紹介し「民謡には作業に必要な力加減やリズムが織り込まれており、人々は歌う

ことで作業を覚え、伝えてきた」と説明した。その上で、「伝統が失われつつある今、民

謡を見直し、その背後にある郷土の人々の営みを見直してみたい」と呼び掛けた。

(大石哲也)

インターネット
山陽新聞社ホームページ
<http://www.sanyo.oni.co.jp/>

刀剣・武具 高価買取
至山名史刀

岡山市田町1-1-1 玉山名史刀 検索
☎086-227-4188